

市民文芸

短歌

阿南市文化祭秋季短歌大会選

佳作 燦めける螺鈿細工の虹色を沖つ岩間の鮑がつくる
鹿島壽美子

佳作 電柱の陰に暑さを凌ぎつつまだまだ遠き家までの道
川口 節子

佳作 栗畑の周囲に青き網を張り猿を防ぎて栗の実拾う
吉谷 富穂

佳作 整骨院にずらりと並ぶ自動車のシルバーマークが朝陽に光る
原 美智子

佳作 未だ去らぬ暑さの日々の秋彼岸小松菜の種子また播きなおす
賀上 花子

佳作 得意げに波乗りできたVサイン笑顔はじける五才の曾孫
井上 京子

佳作 半日をかけて編みけん蜘蛛の網に訳なく振りぬ棒切れ一本

俳句

阿南市俳句連合会選

熱爛の香りを立たせ一人の夜

河内 順子

初桜孫に重たき遊山箱

峰 敏勝

生きんという心はいまに梅盛る

谷中喜代子

題名の長き新刊春の雪

喜来富士子

徒歩遍路背に卒寿の太き文字

中富 範子

足裏にハンドクリーム梅二月

島 玲子

色濃ゆく凜凜と咲く冬のぼら

吉田 當代

石崩し木の葉しごきて猪の道

小西 晴美

立春の庭に鉢やら土ひろげ

近藤 まい

耕人の腰の曲がりたる段畑

横井 知昭

川柳

阿南川柳会 鈴木レイ子選

燻し銀苦勞の光る敬老日

滝川 太郎

卒寿なお孫の未来へ桐植える

原 公美子

人生の始め終わりは皆主役

橋本 征介

骨つぼのこんなに軽い夫抱く
ボランティアの汗人間を光らせる
甲子園光りの町がはずみ出す

渡邊 浪漫
野村 敏子
田上 鶴子

一般応募

着膨れを脱ぎ捨て春の色纏う

島尾美津子

八十路来て試練はいらぬ突き返す

武田 敏子

花シールはつて嬉しい予定表

仁井 信子

化粧水たつぷり明日へ望みかけ

吉田 當代

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

明谷梅林

雨後林園清靄籠

雨後の林園 清靄籠み

原 美智子

模糊花徑暗香中

模糊たる花徑 暗香の中

萬枝紅白羅浮景

万枝 紅白 羅浮の景

岩脇公園の櫻春を詠ず

取星寺畔惜春輝

取星寺畔 春輝を惜み

田中 公

櫻樹風來玉屑霏

櫻樹風來たつて 玉屑霏ぶ

山上晚鐘響那水

山上の晚鐘 那水に響けば

清遊騷客帶花歸

清遊の雅客 花を帯びて歸る

長姉百歳を賀す

退齡百歳似彭仙

退齡 百歳 彭仙に似たり

嬰鑠拔群顔色娟

嬰鑠 群を抜き 顔色は娟なり

可喜平生眠食穩

喜ぶべし平生 眠食の穩やかなるを

壽星更約鶴龜年

壽星 更に約す鶴龜の年

大野シゲ子

※那水：那賀川

※羅浮：中国の梅の名所

※壽星：人の寿命を支配するという星